

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「カタベイ県バンダウエ女子中等学校女子寮建設計画」

署名式

2015年1月30日



右から：西岡周一郎大使、エマニュエル・ファビアノ教育科学技術大臣、ベンフォード・ムワカユニ・バンダウエ女子中等学校校長、トーコ・バンダ初等・中等教育次官

1月30日、西岡周一郎大使とベンフォード・ムワカユニ・バンダウエ女子中等学校校長は、「カタベイ県バンダウエ女子中等学校女子寮建設計画」に関する158,317米ドルの草の根・人間の安全保障無償資金協力贈与契約を締結しました。署名式は在マラウイ日本国大使館の大会議室で行われ、ファビアノ教育科学技術大臣が臨席しました。

バンダウエ女子中等学校は1997年に設立された寄宿学校であり、現在326名の女子生徒が寮生活を送っています。しかし実際には、90人収容可能な女子寮に180名、58人収容可能な女子寮に116名の生徒が生活しており、1つのベッドを2名の生徒が利用している状況にあります。残りの30名は、宿舍機能を備えていない家庭科室を寮として利用しています。ベッドの共有は、女子生徒たちの間で皮膚及び呼吸器感染症が流行する環境を生み、衛生的に良くありません。本来女子寮は、生徒たちが十分な休息を取り、授業に集中できるような環境を備えている必要があります。しかし、マラウイ北部管区の優秀な学校の一つであるバンダウエ女子中等学校の生徒たちは、未整備の寄宿環境のために学習に支障をきたしています。

現在のバンダウエ女子中等学校の寄宿環境を改善するため、今回日本政府からの資金贈与を通じて、56人収容可能な寮を2棟建設します。女子寮が新たに建設されることで、生徒たちの学習環境及び寄宿生活が改善されることが期待されています。また、教育を受けた女子生徒たちが将来、地域社会及び国全体を通して自立・活躍できることが望まれています。